



ANGELA CIAMPAGNA
ALTA PROFUMERIA ARTIGIANALE

日本初上陸！

イタリア発 フレグランス ブランド ANGELA CIAMPAGNA (アンジェラ・チャンパーニャ)
中世の町アトリの土地と伝統へのオマージュ

「アトリア コレクション (HATRIA COLLECTION)」

2016年9月1日 (木) 新発売

株式会社大同(東京都中央区日本橋:代表取締役大同徹 <http://www.daido-corp.co.jp>)は、イタリアのフレグランスブランド ANGELA CIAMPAGNA (アンジェラ チャンパーニャ)のアトリの町にまつわるストーリーをテーマにしたフレグランス「アトリア コレクション(HATRIA COLLECTION)」(全7種類)を2016年9月1日(木)より直営ショップ「B.d.O(ビーディーオー)」ほか全国の有名百貨店で新発売いたします。

アンジェラ・チャンパーニャは、公私共にパートナーであるアンジェラとエンリコ夫妻によって、2011年にイタリアのアトリの町でスタートしたニッチフレグランスブランドです。

アンジェラ・チャンパーニャのクリエイティブな発想は、イタリア半島の南北のちょうど中心部にあるアトリという小さな職人の町であるアブルッツィ・ビレッジの工房でうまれています。ここでは、最高の価値のある香水を作り出すために、日夜、研究に励んでいるアルチザンが、丁寧にセレクトされた上質な天然香料に命を吹き込んでいます。アンジェラは調香を、エンリコは製造とテクニカルディレクターを担当しています。アルチザンの精神は、調香技術にとどまらずすべてのパッケージにも及び、例えばキャップは工作機械で作られたのち手作業で仕上げをしています。ラベル貼付や箱の製造まで、すべてひとつひとつ手作業でうまれています。香水には、ひとつひとつシリアルナンバーが付けられ、品質が保証されています。



◆アトリア コレクション(HATRIA COLLECTION) オードパルファム

香水のネーミングは、すべて中世ラテン語であり、アンジェラ・チャンパーニャの現在の工房があるアトリの町にまつわる中世の時代のストーリーがそれぞれの香りのテーマになっています。村の歴史へのオマージュが美しいパッケージや香水の名前にいたるまで細部に込められています。このコレクションのデザインには、素朴さと崇高さが織り交ぜられているのが特徴で、ハイエンドな香水でありながら手作り独特の不完全さや不正確さが、このブランドを作り上げています。香りはすべてユニセックスに仕上がっています。

100mlのボトルの美しく繊細なキャップの形は、アトリの広場にあるルネサンス期のゴシック建築サンタ・マリア・アッスンタ大聖堂(Cathedral of Santa Maria Assunta)のバラ窓をイメージしています。

- 商品名:アトリア コレクション(HATRIA COLLECTION) オードパルファム
- 香 り:全7種類(アトリア/デューカーリス/カーナト/ロザリウム/リクオアーエル/ノックス)
- 容 量:100mL / 50mL
- 価 格:100mL ¥25,000 / 50mL ¥15,000 (税別)
- 成 分:変性アルコール・水・香料
- 原産国:イタリア

※フレグランスラインアップの詳細は次ページのとおりです。



【問い合わせ】

【ANGELA CIAMPAGNA 日本総代理店】

(株)大同 〒103-0016 中央区日本橋小網町3-12 / Tel:03-3666-3125 / <http://www.daido-corp.co.jp>

【プレス問い合わせ】

(株)大同/マーケティング部 広報・PR担当:横山

Tel:03-3666-3125/FAX:03-3669-3893 e-mail:c-yokoyama@daido-corp.co.jp



ANGELA CIAMPAGNA
ALTA PROFUMERIA ARTIGIANALE

Fragrance Line UP (香り全7種)



■ HATRIA (アトリア) ～ アドリア海のあたたかい海風 ～

Woody Aromatic <ウッディ・アロマティック>

アトリアとは、現在、アンジェラ・チャンパーニャの工房がある場所に、かつて存在した町の名前です。アドリア海の名前は、この町から由来しているといわれています。

トップ: サフラン、ジャスミン、クローブ
ミドル: ローズ、キャラメル
ラスト: パチュリ、サンダルウッド、ガイヤックウッド、ラブダナム



■ DUCALIS (デューカーリス) ～ 優雅な祝宴 ～

Floral Woody Musk <フローラル・ウッディ・ムスク>

デューカーリスは、ナポリの君主の中の最も重要な7つの血族の一つです。12世紀に首都の一つをアトリアに置き、この町に栄華と繁栄をもたらしました。

トップ: ナツメグ、ゼラニウム、
ミドル: ローズ、スズラン、シクラメン、イランイラン、シダーウッド
ラスト: ローズウッド、レザールウッド



■ KANAT (カーナト) ～ 古代の池 ～

Aromatic Floral <アロマティック・フローラル>

カーナトは中世の時代に、アトリアの全地域にあった地下トンネルの名前です。ローマによって地下水路として作られました。今ではもう使われていません。それ以降このトンネルは人々が集まる場所として知られるようになりました。

トップ: ベルガモット、ピーチ、アプリコット、ブラックカラント
ミドル: ソルト、マグノリア、スズラン、シクラメン
ラスト: ムスク、バニラ、パチュリ



■ ROSARIUM (ロザリウム) ～ 礼拝堂の花 ～

Woody Aromatic <ウッディ・アロマティック>

ロザリウムはラテン語で教会のバラ窓を意味し、特に1260年に建設されたアトリアのサンタ・マリア・アッスンタ 聖堂のバラ窓を意味します。

トップ: ハチミツ、タバックフラワー、キャロットシード
ミドル: ジュニパーベリー、アイリスウッド、バイオレット、セロリシード
ラスト: ムスク、バニラ、シダーウッド、インセンス



■ LIQUO (リクオ) ～ 神秘のオイル ～

Aromatic <アロマティック>

リクオはラテン語で運命を意味します。イタリアの村々の伝統には、魔法に関する多くのおとぎ話があります。リクオからはリコリスも連想されますが、リコリスはアトリアの町に多く生息し、実際にこの香水にも含まれています。

トップ: 干草、ラベンダー、バイオレット、レモン
ミドル: アニス、リコリス、ワラ、クマリン
ラスト: インセンス、ペチパー、トンカビーンズ



■ AER (アーエル) ～ 夕霧 ～

Aromatic Green <アロマティック・グリーン>

アーエルは霧を意味します。アトリアは、夕暮れにかかる霧が野草や古い石畳の香りと合わさって醸し出す香りが有名な町です。

トップ: レモン、クレスプミント、イエローグレープフルーツ
ミドル: ジュニパーベリー
ラスト: エレミ、ペチパー、パチュリ



■ NOX (ノックス) ～ 太陽の至点のダンス ～

Aromatic Spicy <アロマティック・スパイシー>

ノックスは夜を意味し、何世紀にもわたり知られることのなかった夜に包まれたこの街の美しさがこの香水のインスピレーション。海から来る塩の香りが丘を越え、村の路地に広がるのを感じられます。

トップ: ベルガモット、ミュゲ、シクラメン、イランイラン、アカシア
ミドル: ソルト、ピンクペッパー、セージ、ヒノキ
ラスト: シダーウッド、パチュリ、バニラ、ホワイトムスク